

看護師、准看護師、保健師、助産師、
管理栄養士、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、
臨床心理士、歯科衛生士、の資格を持つ医療従事者のみなさんへ

CDE-MIYAGI (宮城県糖尿病療養指導士) の資格を取得しませんか？

Together Learning! CDE-MIYAGI
～糖尿病患者によりそい、自己管理の支援ができる医療スタッフをめざして～

【CDE-MIYAGI資格取得のメリット】

- ① 質の高い糖尿病療養指導の知識・技術を身につけ、さらに維持・向上できる
- ② 宮城県糖尿病療養指導認定委員会主催の研修会に優先的に参加できる
- ③ 研修会に参加したり、イベント活動などで仲間が増えると「顔の見える連携」がしやすくなる
- ④ 患者指導のパンフレットやインスリン自己注射の補助具等の療養指導ツールを入手しやすくなる



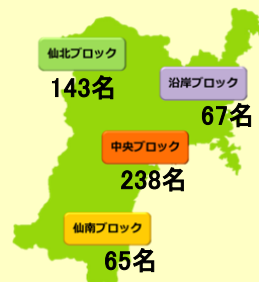
宮城県における糖尿病専門職の資格です

- 日本糖尿病療養指導士 (CDEJ) の資格を取りたいが、受験資格の要件が満たせない
- 糖尿病患者さんへの指導には興味があるが、日本糖尿病療養指導士 (CDEJ) の資格を取るにはハードルが高い
- 資格を取得し、糖尿病に関する知識を深めたい
- 地域の糖尿病に関わる仲間と情報交換したい

このような事を考えていたり、悩んでいたりしている方は是非、ご検討ください！

≪宮城県糖尿病療養指導士資格取得者 (2022年11月時点)≫

看護師:156名、准看護師:17名、保健師:19名、助産師:5名、管理栄養士:126名、
薬剤師:69名、臨床検査技師:17名、理学療法士:10名、作業療法士:1名、
臨床心理士:2名、歯科衛生士:90名、健康運動療法士:1名



宮城県糖尿病療養指導士 (CDE-MIYAGI) の資格取得をご希望の方へ

- 2024年度 (第8回) は 2024年7月1日 (月) ~8月31日 (土) の期間、WEB開催 (オンデマンド配信) にて実施予定です。

【受講申込受付期間】 2024年4月1日 (月) ~2024年5月31日 (金)

※当ホームページの「申込フォーム」からの受講申込となります

下記の方も募集します

- 日本糖尿病療養指導士 (CDEJ) をお持ちの方
- 糖尿病看護認定看護師をお持ちの方
- 日本糖尿病療養指導士 (CDEJ) の資格を失効して2年以上の方

詳しくは公式HPへGo!

QRコードを読み取ってね



お問い合わせ

- 宮城県糖尿病療養指導士認定委員会事務局

<https://www.cde-miyagi.jp>

※ホームページからメールでのお問い合わせになります

2024年2月作成



CDE-MIYAGIの資格を持ち、CDEJとして活躍している先輩 にインタビュー



澤田 智子 さん (奥口内科クリニック 看護師)

Q1. CDE-MIYAGIの資格を取得したきっかけ

私が勤めているクリニックは通院している患者さんのほとんどが糖尿病の方です。通院歴が長く知識が豊富な患者さんも多く、自分の知識不足から患者さんとの関わりに自信が持てずにはいました。そんなとき、院長にCDE-MIYAGIの存在を教えてもらい、資格取得を目標に糖尿病について専門的に学びたいと考えました。

Q2. CDE-MIYAGIとして活動してみたの感想

2023年世界糖尿病デーin宮城に参加させていただきました。様々な職種の方が同じように悩みながらも熱い気持ちで患者さんのために日々取り組んでいることを知り、とても刺激になりました。また、日々の業務では知識が増えたことで以前よりも患者さんに自信を持って指導ができるようになりました。



診察前の面談の様子

Q3. 今後の抱負や目標、活動予定

個々の患者さんの生活を理解したうえ、自己管理の支援ができる医療スタッフを目指しています。糖尿病の治療は日々進化しています。今後も新しい知識の取得に努め、患者さんやスタッフにも共有できるように働きかけていきたいと思っています。

宍戸 敦子 さん (いずみ中山歯科 歯科衛生士)

Q1. CDE-MIYAGIの資格を取得したきっかけ

私は、日本歯周病学会認定歯科衛生士として臨床の場で歯周病患者様と関わっており、日々の診療では糖尿病を有する歯周病患者様が多く来院されています。患者様と関わりの中で、口腔との関連に限らず糖尿病の知識をより得たいと思うようになり、CDE-MIYAGIの認定資格取得に至りました。

Q2. CDE-MIYAGIとして1年間活動してみたの感想

CDE-MIYAGIの研修会に参加することで、糖尿病についての知識が増え、これまで気にしていた服用薬やHbA1c等の情報だけではなく、糖尿病連携手帳の確認やどのような療養指導を受けたのか、療養生活についてもお聴きすることが出来るようになりました。患者様の背景をより深く知ることが出来るようになったと感じています。また、他医療機関で歯周治療を行うことが血糖コントロールに影響すると説明を受けたとの声より、他職種の方々との繋がりも感じるようになりました。



歯科衛生士の仲間と一緒に

Q3. 今後の抱負や目標、活動予定について

血糖コントロールと同じように歯周病治療も、患者様の積極的な治療への参加がとても重要です。今後も、糖尿病を有する歯周病患者様の支えとなるよう、他職種の方々と同じ学びを得ることのできるCDE-MIYAGIの研修会に参加し、知識と情報を得て、患者様が前向きな気持ちで治療に臨める指導を行えるよう努めたいと考えています。

